

## 第8回 砂川市立小中学校統合準備委員会 会議記録

○日 時 令和5年3月20日(月) 18:00～19:17 (所要時間=1時間17分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委 員】 19名

【教育委員会】 4名

【事務局】 5名

○傍聴者 1名 (男性0名、女性1名)

○議事記録

### 1. 開 会

2. 挨拶 統合準備委員会会長

### 3. 報告事項

- ・義務教育学校建設「市民建設ワークショップ」について
- ・中学校入学説明会について
- ・学校間連携事業について
- ・先進地視察について
- ・スクールバス実証調査運行について
- ・スクールバス運行管理委託業者の決定について

#### 【議事の内容(要旨)】

事務局

・義務教育学校建設「市民建設ワークショップ」について  
1点目、「義務教育学校建設市民建設ワークショップについて」は、1月21日開催の「子どもワークショップ～新しい学校をみんなで考えよう～」において出された意見をもとに「第1回市民建設ワークショップ～こんな学校がいいな！を構想しよう～」を2月10日、地域交流センターゆうの大ホールにて、砂川高校の生徒4名を含む15名の参加で開催しました。ワークショップでは、3つのグループに分かれ、今の学校の魅力や新しい学校に期待することや、子どもワークショップで出された意見をもとに意見交換を行い、整備コンセプトと3つの整備方針について確認を行いました。また、「第2回市民建設ワークショップ～子どもが楽しく過ごすことができる学校を考えよう～」については、子どもワークショップと第1回市民建設ワークショップの意見をもとにまとめられた整備方針から具体的な活動イメージや空間イメージを考えていただくこととしています。

事務局

・中学校入学説明会について

2点目、「中学校入学説明会について」は2つありまして、1つ目の「新入学生及び保護者向け説明会」については、小学6年生の児童及び保護者を対象に2月3日に砂川中学校で行われました。今回の入学生は中学校統合後初の新入生となり、市内5校の小学校の児童・保護者が集まり、児童は中学校の学習や生活について説明を受けた後、3つのグループに分かれて30分程度の体験授業を行いました。保護者には、入学にあたっての注意事項や教材販売、PTA活動のほかスクールバスの利用について説明がありました。その後、児童・保護者に部活動紹介が行われ、空知太小学校と北光小学校の一部の児童についてはスクールバスに乗って下校となりました。

2つ目は、2月15日に砂川中学校にて石山中学校の1・2年生の保護者を対象に保護者説明会を行いました。学校生活に関する説明や初登校時の流れ、スクールバスについての説明を行い、登下校時の服装やクラス編成、修学旅行についての質問等がありました。

事務局

・学校間連携事業について

3点目、「学校間連携事業について」は、4つありまして、1つ目、小中連携事業の乗り入れ授業については、砂川中と石山中の教員が1月26日に空知太小学校で社会と英語、27日に砂川小学校で理科、2月9日に北光小学校で体育と英語の授業を行いました。砂川小学校の理科の実験や北光小学校の体育のバレーボールなど、子ども達は積極的に授業に参加し楽しそうでした。授業終了後は、児童たちが先生と交流する場面も見られ、中学進学への不安も和らいだと思います。2つ目、家庭学習強化週間の取り組みについては、中学校ではテスト前の2週間を家庭学習強化週間と位置づけ、学習習慣を身につけることを目的に家庭学習を集中的に取り組んでおりますが、今年度より、小学校でも家庭学習に取り組む習慣を身に付けるとともに小学校での学習内容の理解・定着を高め、中学校入学後の学習へスムーズに繋げることを目的に中学校と同様に家庭学習強化週間の取り組みを実施しました。実施期間は、中学校2週間、小学校1週間とし、目標時間・学習した時間・学習内容・児童による振り返り・保護者からのコメントを記入できるシートを使用しながら家庭学習に取り組みました。3つ目、空知太小学校・北光小学校の連携事業については、2月14日、16日、17日に空知太小学校で両校の4～6年生を対象に交流授業が行われました。交流授業は2時間行われ、1時間目は国際理解について、2時間目は理科の授業を行いました。4つ目、第2回5校交流会については、2月17日に行い、じゃんけんリレーなどレクリエーションを行いました。今回の交流会は2回目となり、前回よりも打ち解けているような印象を受けましたし、最後の感想では「前回の交流会では、話しかける勇気がなく交流できませんでした。今日は勇気を持って話しかけることができました。」といった感想が聞けました。

事務局

・先進地視察について

4点目、令和4年末に義務教育学校が新築と決定したことに伴い、砂川市の義務教育学校と同規模の学校の建設事例が道内にはないことから、1月24日から

26日に教育委員会職員2名と設計事務所で道外の先進事例の視察に行ってきました。視察先は、1学年3学級で9年生までである同規模の学校、木材利用の先進事例である学校、同規模ですが施設がコンパクトにまとめられている学校、閉校となった校舎をリノベーションし、先進的な教育を取り入れている学校の4校を視察してきました。

事務局

・スクールバス実証調査運行について  
「スクールバス実証調査運行について」は、2月24日に4月からスクールバスに乗車する空知太小学校及び北光小学校の現6年生を対象に砂川中学校の登校時間に合わせ、実際の停留所からバスに乗車してもらう実証調査運行を行いました。事後のアンケートでは「乗り心地が良かった」「みんなと乗れて楽しかった」といった声がありました。なお、3月15日に砂川中学校で、中学校1、2年生の交流授業を実施し、その際に小学6年生、中学1、2年生を対象に実証運行を実施しました。朝は、通常登校便に3学年が乗車し、その後、小学生は各小学校へ戻りましたが、中学生は、そのまま4時間授業を行い、両校が一緒に給食を食べ、掃除をした後に帰宅する生徒、部活動見学後帰宅する生徒、部活動参加後帰宅する生徒に合わせて下校便を3便出して、実証運行を実施しました。

事務局

・スクールバス運行管理委託業者の決定について  
「スクールバス運行管理委託業者の決定について」は、2月28日に行われた入札の結果、各経路の運行委託業者が決定し、経路①「富平地区コミュニティセンター・北地区コミュニティセンター・砂川中学校」と経路③「一の沢地区・北光小学校・若草公園前・砂川中学校」は丸一運輸株式会社、経路②「空知太老人憩の家・石山中学校・砂川中学校+土曜・祝日、長期休業日の部活動対応便」は、空知中央バス株式会社が運行します。なお、契約期間は令和5年4月から令和8年3月までの3ヶ年となります。

続きまして、来年度よりスクールバスを運行するにあたり、今までご協議いただいた、運行に関することや利用の手続きなどの大綱を定めた「砂川市スクールバス運行に関する要綱」を2月28日付で制定し、その要綱に基づき、実際の運用上、必要な詳細を「砂川市スクールバス運行に関する要領」として策定しました。

次に、砂川市スクールバス利用の手引きについては、スクールバスの乗車について、原則、指定の停留所で乗車することを決まりとしていましたが、実証調査運行等を踏まえ、乗り遅れがあった場合は同経路であれば次の停留所での乗車を可能とする旨、追記しました。また、運行時刻についても試験運行で調査した運行時間に基づき、更新しました。

質疑、意見等 特になし

#### 4. 協議事項

- ・令和5年度の検討事項及び協議予定時期について（案）

##### 【議事の内容（要旨）】

事務局

- ・令和5年度の検討事項及び協議予定時期について（案）

「令和5年度の検討事項及び協議予定時期について」、次年度の統合準備委員会にて協議すべき事項及び時期について提案します。次年度からの統合準備委員会は、義務教育学校の開校に向け、「校名、校章、校歌、制服等の義務教育学校に関する事項」「基本設計、実施設計等学校建設に関する事項」「乗車対象者や運行経路、台数など義務教育学校のスクールバスに関する事項」の3つの事項について協議します。

義務教育学校に関する事項は、学校名の決定に向けた協議が必要となり、令和6年度に補助申請を行うため、令和5年度中には学校名を決めておく必要があります。

学校名は条例で定めているため、令和5年12月定例会に条例改正案を提案する場合ですと、11月までには本委員会としての校名案の決定が必要となりますので、6月～11月に協議することとなります。

制服、ジャージについては、令和5年度に制服等の方向性や業者選定、令和6年度にデザイン決定を行うスケジュールで協議を進めたいと思います。また、校章も令和5年度中に決定することで、制服デザインに反映できると考えています。

校旗についても、校名、校章が入ることもあるので、令和5年度から協議していくものと考えています。

また、校歌については、作詞作曲を外部へ依頼することとなった場合、令和5年度中に方向性を決め、6年度中に完成できるスケジュールで協議したいと考えています。

続いて、学校建設に関する事項になりますが、7月まで基本設計、8月から実施設計に入っていきますので、進捗等について都度報告し、ご意見をいただく流れで進めていきたいと考えています。

最後に、義務教育学校のスクールバスに関する事項では、コロナ禍前では大型バスの納車に2年ほどかかるとの話もあることから、大型バスを導入するかしないかも含めて、令和5年度中に決めないとバスの発注、納車が間に合わない可能性が考えられますので、乗車対象者の確定や運行経路及び停留所について令和5年度中に決定できるよう協議を進めていきたいと考え、それに伴いスクールバスの運行台数や種類も決まっていくので、運行回数、休日運行、運行のルールについても協議を進めていきたいと考えます。

開校予定は令和8年度ですが、令和5年度の統合準備委員会で決めることは非常に多く、今回のスケジュール案についてご承認いただき、次年度の第1回統合準備委員会から協議を進めていければと考えています。

会長

令和5年度は、このように進めていきたいと思っています。意見ありますか。

- 委員 どのように「学校のコンセプト」を決めていくのか教えてください。コンセプトを校名、校歌、校章に反映していくとになると思うので、そこが決まってから議論が始まると思います。
- 事務局 学校の目指す生徒像や目標は、基本構想にあります。基本構想の内容について、補足する部分があれば小中一貫教育推進委員会で協議を進めていきたいと思えます。
- 委員 基本構想には、小中一貫教育のことしか書いていないと思っていました。今後どのような教育を目指し、新しい学校にどう反映するのかという議論がどのように進められるのか期待したいです。
- 事務局 基本構想の策定にあたっては、砂川市の教育目標をベースに目指す生徒像などを設定していますので、砂川市の教育目標は網羅しているものと考えています。
- 委員 砂川の教育目標は、いつからいつまでの目標なのですか。
- 事務局 令和3年から令和13年までの10年間の目標です。
- 委員 新しい学校も、その教育目標が基本ということがわかりました。小中一貫教育推進委員会だけではなく、子ども達や保護者にも砂川の教育について議論や意見する場所を作っていて、統合準備委員会に諮問いただければ議論できると思うのですが、突然「校名はどうしますか」と聞かれても、あまり良い意見は出ないと思えます。保護者全員に意見を聞く場合はアンケートになると思うので、PTA 連合会に協力いただき意見を聞いたり、子ども達からも意見を聞いたりするのが良いと思えます。
- 会長 現在、義務教育学校建設に係るワークショップを開催していますが、いろいろな世代から新しい学校に関する意見が出ており、それが新しい学校のコンセプトに繋がるものだと思います。ですので、第1回市民建設ワークショップの開催報告を読み解いていただきたいと思えます。また、第2回の市民建設ワークショップは、もう少し具体的なものになると思えますので、そちらの開催報告も読み解いていただくか実際に参加するのが良いと思えます。
- 委員 ワークショップで出てくる意見というのは、結論に近いものだと思いますので、その意見を無駄にしないようにしていただきたいです。
- 委員 閉校後の石山中学校はどうなるのですか。
- 事務局 現時点では、協議中です。統合によって、使える備品を石山中学校から砂川中学校に、不要な備品を砂川中学校から石山中学校に移転します。「不要」と言っても壊れている備品ではないので、当面の間は、そのような備品の保管場所になる

と思います。

委員 協議事項に戻るのですが、「義務教育学校に関する事項」は、来年の3月以降も協議を続けるのか、来年の3月までに確定させるのか教えてください。

事務局 令和6年度から義務教育学校の建設が始まる予定なので、令和6年度から国の補助を受ける申請を提出します。その申請を提出する前に、学校の設置条例の改正が必要になるので、学校名については、令和5年度中に決定をして、議会で議決という流れになります。校章についても、制服の検討において、校章があしらわれていることが考えられるので、令和5年度中に決定いただきたいと思います。それ以外については、令和6年度以降の決定でも大丈夫だと思います。

委員 協議から外れるのですが、皆さんにお願いがあります。砂川中学校では、石山中学校の生徒を4月から迎え入れるために、いろいろと準備を行ってきました。他の自治体でも、1年間という短い時間での統合というのは、なかなか成し得ることが出来ないものだと思いますし、コロナ禍ということもあり、スケジュールを立ててもすぐに変更となる中で、少しでも子ども達に不安のないようにアンケートを実施していただいたりもしました。それでも、私達の周りにも統合に向けて不安な気持ちを持っている保護者が少なからずいるというのが事実です。少なくとも、この場にいる保護者の皆さんには、統合を楽しみにしている子ども達の背中を押してあげていただきたいと思います。子ども達の交流授業の話を聞くと、数を重ねて、子ども達は同じ教室で一緒に勉強できるぐらいに仲良くなれているということがよくわかりました。保護者の皆さんが不安に思うと子ども達も不安になってしまいますが、「しっかり頑張っていこう」と背中を押していただければ、子ども達も胸を張って、綺麗なバスに乗って学校に通って来てくれると私は信じていますので、不安を感じている子どもがいたら「大丈夫だよ」と伝えていただければ幸いです。

会長 ワークショップに参加している姿を見たので、ワークショップの感想もお願いします。

委員 新しい学校に対しての夢が溢れる明るい意見がたくさん出てきて、私が学生だったら「この学校に入りたい」というような話がたくさんありました。例えば、「光がたくさん差して、みんなで放課後に勉強できるスペースがあると良い」「カフェのようなスペースを設けて飲み物を飲みながら意見を交わせるようなスペースがあると良い」など、学校という枠を取り払った自由な意見がたくさん出ていました。ワークショップで話し合われた「楽しいスペースと勉強に集中するスペースをしっかりと切り分ける」という意見などを新しい学校の設計に反映していただいて、開校時にどれだけ形になっているのか、期待させていただきます。

会長 私が今回のワークショップで素晴らしいと思ったことは、設計会社の人も参加して、意見を聞いていたことです。それが新しい学校にどのように反映されてい

くのが楽しみです。

4月に中学校が統合となりますが、学校の様子を教えてください。

委員

3月15日に石山中学校と砂川中学校の1、2年生の最後の交流授業があり、午前中4時間の授業と給食、清掃、それから部活動を見学したい生徒は部活動にも参加し、その後石山中学校の生徒はスクールバスで下校しました。「中学校統合に不安を感じている子ども達もいる」ということで、砂川中学校と豊沼中学校が統合した時の1期生の5人に集まっていたいて、3時間目の授業に統合した時の思い出や経験について話を聞かせていただく時間を砂川中学校学校運営協議会に企画していただきました。その時間の中で、子どもから「不安はありませんでしたか」という質問に対して「不安は特になかったです」と回答していたのが印象的でした。砂川中学校と豊沼中学校の統合後、修学旅行や体育祭等を経験して知らない友達同士が仲間意識を深めていったという話もされていたので、子ども達には、次年度の4月以降を不安なく迎えて欲しいと思いました。全ての学年学級で再編成することを新たな仲間と新たな時間過ごして新しいものを作っていくと前向きに捉えて、取り組んでほしいと思います。コロナ禍でICTが進みオンラインで遠い人と交流することもできるようになりましたが、学校という教育活動を進める場においては、身近にいる人の呼吸や話の温度を常に感じながら生活していくことが子ども達の繋がりをより一層深めてくれるということ、この1年数ヶ月、何回か行った交流授業の様子を見て感じました。4月以降、まだ不安に思っている子ども達もいると思いますが、実際に会って「初めまして」からのスタートではない状態になったと思うので、少しずつお互いを気遣ったり声をかけ合ったりして、良いクラス、良い学校を作ってくれと思います。

委員

石山中学校は、今年度閉校ということで最後の年となった一方で、砂川中学校として新しいスタートをスムーズに切れるように活動してきました。学校統合は「メリットがあるから統合しましょう」ということで始まっていますが、そのメリットがしっかりと子ども達のメリットとなれば良いと思います。そして、石山中学校の最後の1年を応援いただいた皆さんに感謝を伝えたいと思います。この先、子ども達は、どこにいても砂川の子ども達なので、皆さんに大事に育てていただいて、子ども達には、充実した幸せな日々を送っていただきたいと思います。

委員

学校がなくなるのは、いろいろな要因があるので仕方ないことだとは思いますが、統合後、子ども達がどうなるのかだけが心配です。学校がなくなったからといって、子ども達の人生が終わるわけではないので、次のステップに進んでほしいという思いで、この1年間、閉校記念事業等に取り組んで来ました。これからも地域の一員として、しっかり子ども達を見守っていききたいと思います。

会長

これで協議事項を終わらせていただきます。

## 5. その他

### 【議事の内容（要旨）】

- 会長                    その他、何かありますか。
- 事務局                令和4年度の本委員会での決定事項について、ご確認をいただきたいと思  
います。  
                          まず、中学校の統合に関する事項としては、学校休業日にスクールバス部活動  
便を運行します。①土曜日については、夏季は石山中学校と砂川中学校の巡回運  
行、冬季は豊沼小学校を加えた3地点の巡回運行を行います。②日曜日について  
は、部活動を土曜日に集約し、部活動の休養日となるので、運行はしません。③  
夏休み、冬休み等の長期休業日についても、石山中学校と砂川中学校の巡回運  
行を行います。④祝日については、土曜日の運行に準じることとしています。また、  
スクールバスの利用の手引き、緊急対応マニュアルについてもご協議いただいた  
通り決定させていただきます。  
                          続いて、義務教育学校に関する事項としては、制服等に関するアンケートを実  
施し、義務教育学校の制服の導入時期を令和8年度からとすると決定しました。  
                          以上が令和4年度砂川市立小中学校統合準備委員会において決定した事項とな  
ります。
- 会長                    質問、意見ありますか。無いようですので、決定事項について進めさせていた  
できます。  
                          他、何かありますか。
- 事務局                今年度最後の委員会ということで、お礼を含めまして、ご挨拶させていただきます。  
今年度の統合準備委員会は本日が最後で8回目を数えました。委員の皆さんには、お  
仕事終わりのお疲れのところ、あるいは他の用事などで忙しいにも関わらず、毎  
回の会議に多くの委員に出席いただき、大変ありがとうございました。また、会  
長におかれましては、いろいろな意見、いろいろな議論があり、難題が多く、難  
しい舵取りだったと思いますが、精力的にまとめていただきました。この場を借  
りて改めてお礼を申し上げます。今年度も統合準備委員会では、中学校統  
合によるスクールバスの運行のほか義務教育学校開校に向け、校名や校歌、制  
服・ジャージ等について協議をしていただき、特に制服については、アンケート  
調査を実施した中、様々なご意見をいただくなど活発なご論議をいただきました。  
まだ、引き続き協議事項が多くありますが、今年度は決定事項も多くいただき  
ました。また、来年度は、中学校の統合があり、今年度はスクールバスの実証運  
行を幾度と実施したほか、学校にも準備していただき中中連携として授業交流や  
部活動交流などの交流を図り、統合しても子ども達が不安のないように進めて  
参りました。あるいは、令和8年度の義務教育学校の開校に向けては、建設形態  
を新築とし、現在の砂川中学校敷地内に整備を行うこととなりました。現在、子  
どもワークショップや市民建設ワークショップを開催し、様々な世代から意見  
をいただき、他方では、施設建設部会にて現場の先生達からもご意見をいた  
だき、今年

の7月ぐらいまでには、基本設計をまとめていくところです。また、小中一貫教育推進委員会では、砂川市として小中一貫教育の実現、発展的な教育を進めるため「砂川市小中一貫教育推進計画」の策定を進めているところです。今年度の委員さんにも、所属を代表した意見や活発な議論をいただきました。令和8年度の義務教育学校開校に向け、だいぶ形も見えてきたところですが、まだまだ決めることもたくさんあります。来年度も統合準備委員会でいろいろと意見をいただくこと、あるいは、委員が変わることもあると思いますが、委員ではなくても何か気になることがありましたら、教育委員会へご意見をいただきたいと思います。今年度も忙しい中、毎回ご出席いただき、大変ありがとうございました。

会長

それでは、本年度最後となる第8回砂川市立小中学校統合準備委員会を閉会します。皆さん、1年間ありがとうございました。

以 上